

小学校〈総合の学習の時間〉授業実践報告

世界の平和に願いをこめて

～世界の子どもたちの現状を理解し、学習したことを伝えよう～



ユニセフ学習会

東京都府中市立四谷小学校5年生の総合的な学習の時間の実践を、村上卓先生に報告していただきました。

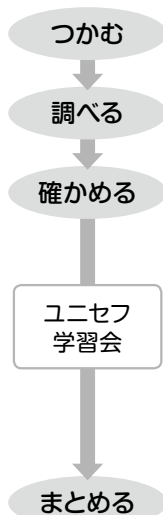
I 活動のねらい

本校では、これまでの研究を通して「子どもは自分が実現させたいことに会ったとき、自らが持つ力を発揮して、主体的に実現へ向かおうとする。」という子ども観を持っている。そして、「総合的な学習の時間」においては、教師は子どもたちの思いに添い、子どもたちと共に活動内容を決めて学習を展開している。

本学級では、「自分たちだけが満足する活動ではなく、いろいろ

な人たちとかかわりたい。」という子どもたちの思いをもとに話し合った結果、「誰かのために募金しよう」という活動を進めることにした。この学習を通して、同じ地球に生きる世界の子どもたちの生活や現状に目を向け、世界平和について考えたり、今後の自分の生き方について考えたりすることを願っている。

II 学習活動の流れ



- 1 世界の現状について話し合い、予想したり調べてみたいことを考える。
- 2 世界の子どもたちを取り巻く環境や募金について自分たちで調べる。
- 3 自分たちで調べた、世界の現状について交流しあう。
- 4 世界の子どもたちのために支援活動をしている日本ユニセフ協会の方の話の聞いたり、質問したりして厳しい環境で生活している子どもたちへの理解を深める。
 - ①ビデオ「ユニセフと地球のともだち」を視聴する。
 - ②ゲストティーチャーの方の話の聞いたり、質問したりする。
 - ③ネパールの水がめを運び、その重さや運ぶことの大変さを実感し、労働の苦勞や学校に通えない現状を知る。
 - ④マラリア予防の蚊帳を体験し、マラリアを防ぐための努力・工夫について、ユニセフがしていること学ぶ。
 - ⑤資料「ユニセフ手帳」を参考に、理解を深める。
- 5 世界の子どもたちのために自分たちにできることを考える。
- 6 募金活動の計画を立てる。



ネパールの水がめ体験



マラリアを防ぐ蚊帳の体験

III 児童の感想

ビデオを見て、川の水を飲んでいたり、戦争に行く子どもがいたりしておどろいた。

平和ではない外国のことがよくわかった。ユニセフではそのための取り組みをしていることがよくわかった。

3秒に一人死んでいることにびっくりした。私もエコキャップなどで協力したいと思った。

日本とちがいで、学校に行くことができないで、家の手伝いをするなんてえらいなと思いました。

IV 成果と課題

ユニセフ学習会では、水がめ運びやマラリア予防の蚊帳の体験を取り入れることで、厳しい環境で生活している子どもたちの思いにふれることができた。また、自分たちが生活している日本がいかにかに恵まれているかを考えることができた。さらに、ユニセフの活

動を通して、世界には平和を願い、人道支援をしている人たちがたくさんいることがわかった。学習をもとにして、児童自らが世界平和に対する自分なりの考えをもち、今後の生き方に対する考えが深まることを期待している。